



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2017年12月1日
 幼保連携型認定こども園
 YMCA 保育園

12月えんだより

12月の聖句：「いと高きところには栄光、神にあれ、地に平和、

御心に適う人にあれ」

ルカによる福音書第2章14節

今年は、短い秋が過ぎ、朝晩めっきり寒さを感じる12月がやってきました。陽が短くなり、家や街頭の明りが賑やかに映し出されますと、クリスマスがやってきます。

今月は、「最初のクリスマス」の情景です。ここには、クリスマスに付き物の飾り物はありません。ケーキもツリーもなく、パーティーどころか限られた人だけで祝われました。天使と野宿していた羊飼いだけなのです。それは、天上の祭りだったのです。神様が天使と共に喜びになる祭りで、そこに羊飼いが招かれたのです。羊飼いは、24時間羊の番をして、羊と一緒に生活し、野宿をして賃金をもらう人です。貧しいだけでなく、お休みもありません。貧しくて卑しいことに、値うちがあつたのではなく、神様からの恵みによって選ばれたのです。後に、羊飼いと博士だけが、神の御心を素直に信じ、天使の言葉を信じて、暗い夜道を、相当の距離があつたにも関わらず、小さな馬小屋まで救い主、幼子イエスを拝みに行きました。それは暗い地上の世の中で、唯一の喜びであり、心よりの希望を抱くことができた出来事だったのです。羊飼いや博士は、心が満たされ、心の底から喜び賛美して人々に伝えたのです。

クリスマスは、私たちが、地上のことにばかり目をやり、実証できるものを信じるという、現代社会に、一つの教えを与えています。ある一人の歴史家が「天が空虚になると、地も空虚になる」と言われました、誰もが天のことを忘れ、地上のことばかりを考えていると、その時代は、地上のこと自体も空っぽになる、全てが虚しくなるという意味なのです。「地には平和、御心に適う人にあれ」とは単純に「信仰を持っている人になれ」ということではなく「主が、喜ばれる人」という意味です。どんな状況に置かれても「信じる」気持ちを持ち続け、世の光の当たらぬ羊飼いに、最初に救い主の誕生を予言されたように、神の教えに忠実に生きる人となるようにと教えているのです。

私達も日々、余裕がある時間はないかもしれませんが。この「最初のクリスマス」の出来事のように、色々な出来事のあつた一年の日々を、神様の御心を思い、感謝して閉じ、幼子イエスが誕生した、新しい命への希望を持って新しい年を迎えることができますようにとお祈りします。最後になりましたが、この一年も保護者の皆様方の暖かいご支援やご協力に心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

12月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	うれしいね	喜び合う
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *クリスマスを迎える雰囲気を楽しみ、喜んで待つ *保育者や友だち、家族と一緒に、クリスマスを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> *クリスマスの意味を知り、喜びを分かち合う。 *いろいろな人のことを思い、自分ができることを考える。 *心を合わせて表現することを楽しむ。
讃美歌	おほしがひかる	きよしこの夜 こども改 98